

会議録

会議の名称	平成30年度 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（第1回）
開催日時	平成30年9月25日（水） 午前10時～正午
開催場所	清須市役所 北館2階 第1・第2会議室
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 座長あいさつ 5 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の公開等（案）について 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況（平成29年度）等について (2) 次期「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の考え方について 7 閉会
会議資料	<p>会議次第、委員名簿、配席図</p> <p>〔会議資料〕</p> <p>資料1 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議開催要領・清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の公開等（案）</p> <p>資料2 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況（平成29年度）等について</p> <p>資料3 次期「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の考え方について</p> <p>資料4 清須市第2次総合計画（後期基本計画）の策定のながれ</p> <p>資料5 第1回 市民参画会議の結果報告</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	1人
出席委員	水谷委員（座長）、福井委員、名倉委員、中田委員、小川委員、浅井委員、牧野委員、高山委員
欠席委員	なし

出席者（市）	葛谷副市長
事務局	〔企画部企画政策課〕 河口企画部次長兼課長、藏城課長補佐、服部課長補佐兼企画政策係長、石附主査、服部主事
会議録署名委員	福井委員、名倉委員
<p>1 開会</p> <p>（河口企画部次長兼企画政策課長）</p> <p>ただ今から、平成 30 年度第 1 回清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催いたします。皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、企画部企画政策課長の河口と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>初めに、会議の開会に当たりまして、葛谷副市長からごあいさつを申し上げます。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>（葛谷副市長）</p> <p>皆様、改めましておはようございます。紹介いただきました副市長の葛谷でございます。今日は、平成 30 年度の第 1 回 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催に当たりまして一言、ごあいさつをさせていただきます。</p> <p>皆様には、本会議の委員へのご就任をご快諾いただき、また、本日お忙しい中ご出席をいただきました。誠にありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。これから清須市の地方創生の総合戦略に携わっていただくこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>今、少子高齢化、人口減少といったところが大きく取り上げられているところでございますが、東京への一極集中といった日本が抱える人口問題、他にも社会保障など色々な問題があるのですけれども、人口減少問題が全ての発端になっているのだろうというところで、行政に携わる者としても、この問題にどう取り組んでいくかというところが非常に関心のあるところで、整理をしていかなくてはいけないところだと実感しているところでございます。</p> <p>特に、人口減少は、今皆様は普段の生活をしてみえるので、どういう状況なのかすぐには把握できないのかもしれないのですけれども、実際には、こんなことを言うと女性の方がおみえになるので申し訳ないと思うのですけれども、2020 年の東京オリンピックの年には女性の 2 人に 1 人は 50 歳以上になる、そういった時代を迎えるに当たって、子どもを増やしていくというところを取り上げても、今後どういう形にしても、増えていくことは非常に難しいのだろうなというところがございます。</p> <p>ましてや、既に 65 歳以上の方の人口の約半数が 75 歳以上の高齢者になっております。市内を見渡していただいても、元気な高齢者が本当に多くなっているなというこ</p>	

とは皆様も感じ取っていただけたと思いますので、そういったことも含めて、地方創生、これから大事なところではないかなというふうに思っております。

このような中で、国も含めて、まち・ひと・しごと創生法を施行して、全国的にこういった取り組みを進めているというところで、清須市も平成 27 年度にまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しまして、現在取り組みを進めているところでございます。

これまで人口の問題についてのお話をさせていただきましたが、清須市の人口は、幸いなことに多少の増加傾向にございます。平成 29 年も愛知県内では出生率が 1 位でございました。名古屋市近郊の長久手市、あるいは日進市を抑えての 1 位だったので、魅力があって来ていただいているのかなというところで、多少自信はあるのですが、反対に高齢化は間違いなくやって来るものですから、人口構造の変化は間違いなくやって来ますので、こういった計画を重々作り上げていかななくてはいけないなど考えているところでございまして、2025 年には東京も人口減少局面を迎えるというところもございますので、私どももそういった年度の前に、こういった対策、戦略を考えていく必要があるというところでございます。

こういったことも含めまして、将来を見据えて、しっかりと取組を進めていくことが重要であると思っておりますので、今回、地方創生の実現に向けて、委員の皆様からそれぞれのお立場・視点で、活発なご意見・ご議論をしていただけたらというふうに思っております。

簡単ではございますが、お願いを申し上げますとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

(河口企画部次長兼企画政策課長)

葛谷副市長におかれましては、他の公務がございまして、ここで退席させていただきます。

それでは、本日は平成 30 年度の第 1 回目の会議でございますので、お手元の名簿に従いまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思っております。

まず初めに、本会議の座長でございますけれども、お手元の資料 1 の左側、会議の開催要領の第 4 条をご覧ください。

第 2 項では「会議には、必要に応じて、座長を置くことができる」こととされており、第 3 項では「座長を置く場合は、委員の中から市長の指名により選任し、座長が会務を総理する」こととされておりますので、指名による選任をさせていただきたいと思っております。

開催要領第 3 条の区分 1 号の学識経験者といたしましてご参画いただく、パブリック・ハーツ株式会社代表取締役及び岐阜大学客員准教授の水谷香織委員に座長をお願いしたいと思います。水谷様は、社会的合意形成、交通計画、土木計画がご専門でござ

ざいます。水谷委員、どうぞよろしく申し上げます。

(水谷座長)

よろしく願いいたします。

(河口企画部次長兼企画政策課長)

引き続き、委員の紹介をさせていただきます。

【委員紹介】

4 座長あいさつ

(河口企画部次長兼企画政策課長)

それではここで、水谷座長から一言、ごあいさつをいただきたいと思います。
よろしく申し上げます。

(水谷座長)

皆様改めまして、パブリック・ハーツの水谷と申します。よろしく願いいたします。

このたび、座長という立場を仰せつかりまして、先輩方の前で大変恐縮しております。また、緊張しております、ドキドキしております。精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

私自身、平成27年度、28年度の2年間、社会的合意形成などの観点から、清須市の第2次総合計画の策定に携わらせていただきました。審議会の委員として、また、市民参画会議、市民の方々が15人くらい集まって、熱心に議論する会議があるのですが、その運営に携わらせていただきました。そういった経緯もありまして、今年度からも第2次総合計画の後期基本計画の策定にも携わらせていただいております。

そういった関係もありまして、学識という立場もありますので、こういった立場に立たせていただいております。よろしく申し上げます。

先ほど葛谷副市長からお話がありまして、清須市さんの方でも人口減少、また少子高齢化ということで、じわりじわりとそういった社会になっていくということですので、この会議で、どうしていこうかというところを、それぞれのお立場からご意見いただけましたら大変ありがたく思います。

ぜひ市民の皆様にも、そういった皆様のお考えをお届けしたり、審議会の方にも持って行って総合計画に反映したいという、そういうことを一生懸命やっていきたいと思っています。

それでは、清須市の地方創生に向けた取組を着実に進めるための議論ということで、皆様どうぞよろしく願いいたします。

(河口企画部次長兼企画政策課長)

水谷座長、どうもありがとうございました。

それでは、ここからの会議の取り回しにつきましては水谷座長にお願いしたいと思
います。よろしくお願いいたします。

5 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の公開等（案）について

(水谷座長)

それでは、私の方でこれからの会議の取り回しをさせていただきます。よろしくお
願いします。

では、まず当会議の公開等の決定をさせていただきます。当会議の公開等の案につ
いて、事務局からご説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料1を説明】

(水谷座長)

ありがとうございます。

ただ今の説明につきまして、委員の皆様、ご意見やご質問等はございますでしょ
うか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、当会議の公開等につきましては、事務局案のとおり了承といたします。

それではここで、会議録署名委員の指名を行いたいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席順に福井委員、そして名倉委員にお願いした
いと思います。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

6 議事(1) 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況（平成29年度）等 について

(水谷座長)

それでは、一つ目の議事に入ります。清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取
組状況等について、事務局から説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料2を説明】

(水谷座長)

ありがとうございました。

ただ今、事務局からご説明いただきましたけれども、総合戦略で定める4つの基本目標の実現に向けて、これからどう改善していくかというご議論をお願いしたいと思っております。

少しややこしい話でありますので、私の方から確認をさせていただきたいと思います。

本日の議事は二つありまして、今からが一つ目ですが、これは地方創生の総合戦略の平成28年度から平成31年度までの4年間、今動いているものですね。今動いており、策定から2年半が経過したもので、これに対して振り返りをして、改善点を皆様にご議論いただきたいということです。その改善点は、平成31年度末まであと残り1年半ございますので、その間に改善していくべきことについて、議事の一つ目でご議論いただければと思っております。

ちなみに、二つ目の議事は、次期地方創生総合戦略ということで、平成32年度から5年間、必要であればがらっと見直すような総合戦略を議論していただくこととなります。

前半、一つ目の議事では、これの改善点、1年半くらいでできることをご議論いただければと思っております。よろしくお願いたします。

それでは、どなたからでも結構ですが、ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(福井委員)

基本目標①のところで、比較的この部分の達成度合いが、他の目標と比べると達成困難ですとか、やや未達成みたいなどころが多いのですけれども、例えばそれぞれの施策について、なぜ達成できなそうだとか、達成困難だというような、理由とか原因というのはどんなところなのでしょう。

また、それに対して、どんな手を打っていくのかというところを、少しご紹介いただきたいと思います。

(水谷座長)

ありがとうございます。

基本目標①に対する施策のできていない原因、また改善策について、事務局、よろしくお願いたします。

(石附企画政策課主査)

ただ今、福井委員からご質問のあった点でございますが、基本目標の一つ目、こちらは「休日の滞在人口率の向上」という数値目標を置いているところですが、休日の滞在人口、こちらは携帯電話等のデータを使って、国がビッグデータとして活用している数値ですが、清須市に滞在している人口を上げていこうという趣旨でございます。

数値目標の達成に向けたK P I の状況を見ていただきますと、中心になってくるのは清洲城や清洲貝殻山貝塚資料館の誘客を促進するということですのでございます。

K P I の状況の中で、施策①から⑤を見ると、「休日の滞在人口率の向上」に直接結び付いていくようなところは、やはりこの施策①でございまして、あとは施策③・施策④も、施策①に関連するものだと考えております。

清洲城及び貝塚資料館の入場者数というところですが、イベントを打たないことには入場者数を伸ばすには厳しいのかなというところで、平成 29 年度も担当課の方ではスタンプラリーを開催して、誘客の促進を図っているところです。また、ボランティア武将隊という活動をしていただいている組織があるのですが、その方たちによるイベントですとか、土日や祝日におもてなしをするというイベントをやっているところではあるのですが、それでも基準値から比較すると平成 29 年度は減少しているという状況でございます。

担当課も頑張っているというところではあります、誘客というところは行政だけでは限界がある部分も見えているところですのでございまして、キンビールさんですとか、市内の様々な方と連携を図りながら誘客の促進を図っていくというところは、今後も引き続きやっていかなくてはいけないところでしょうし、新たな視点というところで、この会議を通じまして皆様からアドバイスをいただけたらありがたいと思っています。以上でございます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

福井委員、いかがでしょうか。

(福井委員)

ありがとうございます。

清洲城とか資料館についての入場者を増やしていくということについては、どこをターゲットにするとか、対象を明確にしたやり方もひとつあるのかなというところと、もちろん数字的に数を追うというのも必要なのかもしれないですが、行った人の満足度がどれだけアップしたかとか、質のところも見ていった方が良いのかなということを感じましたので、意見として言わせていただきます。

(水谷座長)

定量的な把握だけではなく、定性的な評価もしていった方が良いということで、どうもありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

(中田委員)

私、愛知県の文化財保護室長という立場でありまして、基本目標①の施策①、清洲城及び清洲貝殻山貝塚資料館の合計入場者数を増やしていくということでございますけれども、貝塚資料館は県の施設ですから、責任の一端があるかなということで反省しておりますけれども、貝塚資料館単体で見ますと、平成 27 年度の入場者数は 5,226 人でありまして、平成 29 年度につきましては 10,178 人ということで、ほぼ倍増となっております。

ただ、これは資料館単体の魅力があるから来ていただいているかということ、そうではないのかなと分析しております。ウォーキングのコースに資料館が設定されたということが大きくて、ウォーキングの入場者数が多いということになっております。

また、清洲城のイベント、それから資料館のイベント等で、清洲城から人が資料館に流れてきているということもございます。

キンピール名古屋工場さん、清洲城さん、貝塚資料館の 3 施設で昨年度、スタンプラリーを行いまして、それも大変好評だったということもありまして、入場者数が増えているということがございます。

それぞれの施設単体で魅力発信に努めても、なかなか集客には限界があるものですから、やはり個々の運営主体が異なっても、連携した取組を進めていくことが大切なのかなと思っております。

ただ、貝塚資料館でございますけれども、平成 32 年秋のオープンに向けて拡充整備を進めておりまして、近々建設工事に入っていきます。そういう関係もありまして、今年度、それから来年度の入場者数の増加は見込めない、特に平成 31 年度は閉鎖しますのでゼロ、今年度についても、工事に着工するということもありまして、ウォーキングのコースからも外れていることもございまして、昨年度の同時期と比べても人数が減っているという状況でございます。

平成 32 年秋にオープンする新資料館を核にして、また何かできればなというふうに思っております。以上です。

(水谷座長)

ありがとうございます。

他のイベントとか、他の施設と連携することで入場者数を増やした方が良いけれども、残念ながら工事があるからということで、直近では苦しい数字になるかもしれないということですね。

(中田委員)

ただ、新資料館の拡充整備に向けて、賑わいを創出していこうということで、県の方では「賑わい創出会議」ということで、清須市さんの教育関係者、企業のキンピールさんとか、商工会の方とか、色々な関係者の方に委員になっていただいています。

そうやって連携して賑わいを創出していこうということで、アイデアを出しても

らって、そのアイデアを実現していければなというふうには思っております。

(水谷座長)

ありがとうございます。

連携の取組はもう始まっているということで、数字が出てくることを期待したいということですね。ありがとうございました。

(高山委員)

高山でございます。よろしくお願いします。

基本目標①の「地域資源とシビックプライドを核として活力あるまちをつくる」というところの数値目標で、人口が増えていくと、達成が困難になるという要素も出てくるのかなという気がしています。ただ、全国的にこういう数値目標でやっていらっしゃるのだろうと思うので、仕方がないのかなという気もします。

あと、座長からは、これから1年半の話が議事の一つ目ですよという説明がありましたので、1年半でというとなれなのですけれども、先ほど事務局からは企業との連携というお話がありまして、一つ個人的な提案で、例えば清須市には観光資源がいっぱいあります。清須は旧街道、昔の街道の要衝で、後の方に出てくる市民参画会議の声の中にも、日本で一番長い人工河川がありますよとか、そんなところがいっぱいありますので、所々に説明書きを書いた立て看板、それをぜひ企業さんの協賛を募って、立て看板に企業さんの名前を入れていただいて、そうした説明書きをまちのあちこちに立てていけば、「休日の滞在人口率の向上」というところも関係してくるかもしれないですけれども、市内に住んでいる人が外に出ていかずに清洲城に行こうかということも大事で、市内の方も地元にどういう所があるのか、ご存じない方がまだいっぱいいると思うものですから、そういったところのアピールにもつながっていくし、外から来た人には「新川はこういう川なんだ」とか、ウォーキングなんかを通じて見ていただければ、いろいろ伝わっていくでしょうし、地域の方は郷土愛も生まれてくるし、まさに「まち・ひと・しごと」トータルで、細かな提案ですけれども、トータルで絡んでくるのかなと、そういう気がします。

1年半ですので、来年度の予算、無理なら次の計画で、ここの施策の中では直接どこに入るのかなと見ていたががないようですので、その辺りは行政の方で検討していただければと思います。そんなことを思いましたので、発言させていただきます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

まずは目標値の設定の仕方ですね。人口が増えると数値が下がる、人口を増やしたいけれども、それが増えると今度は数値が減ってくるというような、ちょっと矛盾したところもあるということで、これはぜひ次期戦略の方と一緒に考えていただけると

非常にありがたいと思っております。

そして、地域資源が清須市の中にはたくさんあって、それを外の人にPRするという意味でも、また市民の皆様を知っていただく、そしてお友達を連れてきたりとか、そんなふうと一緒に見ていただく、誇りに思っていたくということも考えて、立て看板などを作ったらどうかというご提案をいただきました。

どうでしょう、事務局の方からこれに対して、どこかに入りそうとか、今後何かできそうということがありましたら教えてください。

(石附企画政策課主査)

高山委員からご意見、アドバイスをいただきました点につきましては、議事の二つ目の中でも出てきますが、例えば企業さんとの連携というところで、地域資源を生かすための立て看板を、企業さんの協賛を募って設置するという手法は、すごく有効な手法ではないかなと率直に思っているところです。

市の行政全体の中での行革という視点で見ましても、例えば名古屋市さんであれば「街路灯パートナー」という事業をやっていまして、街路灯の維持管理経費をご負担いただく代わりに企業名などを入れて、それで愛着を持ってもらうという、そういった取組をやっている市町村さんもありますし、全国的にもネーミングライツのような取組をやっている市町村さんもたくさんあると思いますので、検討させていただければと思います。

(水谷座長)

ありがとうございます。

企業の委員の皆様もいらっしゃいますが、今の企業との協賛について、また議事の二つ目でもあるということですのでけれども、もし何かございましたらお願いします。

(福井委員)

可能な限りご協力はさせていただきたいと思います。

先ほどもちょっと出ましたけれども、色々な所に、色々な良いものがある、それがまだまだPRというか、発掘されていないのかなというところと、中田委員からもお話がありましたけれども、それぞれが点で、ばらばらになっているような感じがして、それをつなぐとか、もう少し面のような感じでPRというか、広報できていくと、より魅力度がアップするのかなと思っています。

ですので、先ほどのような立て看板みたいなこととか、もっと言うと、枇杷島の駅を降りた所はすごく閑散としているので、あの辺に広報マップとか、こういう見どころがあるといったようなものを、もうちょっと目立つものを作った方が良いのかなと思っています。以上です。

(水谷座長)

どうもありがとうございました。

他の委員の皆様いかがでしょうか。牧野委員、お願いいたします。

(牧野委員)

うちの会社はちょうどJRと名鉄の駅の間でありまして、職場の方からもよく声が聞こえてくるのですけれども、昔、東海豪雨以前は色々な飲食店とかそういったものもあって、JRですと高架の下とか、そういった所で仕事の話とかプライベートな話ができるコミュニケーションが取れていたのですが、東海豪雨以降、色々な企業さんも別の所に移動されたりということもあって、そういった所が増えてきていないというのも一つあると言っていました。近くでいくと「椿久」という酒屋さんがあったのですが、そこもお閉めになってしまったので、近くでそういった話ができるような場所もないよねというのがあって、その辺りも今の話の中で、色々な飲食店がもう少し増えてくると、滞在の部分についても増えていくのかなということがあります。

あとは、先ほど来、人口増加の部分も含めて、うちの会社の社宅ができて人口が増えましたというお話はあったのですけれども、労働界としても、巷でもよく言われているのは、労働人口が減ってきているのは間違いないところでございまして、一企業として、どういった形で労働力を確保するのかといった部分の一つのアイテムで、福利厚生の一環として寮とか社宅をやっているというのも実態であって、今回は枇杷島に全体で400世帯くらいにはなったのですが、ただ、その後をどういうふうにするのか、あくまでも社有の社宅や寮なので、そこをどういった形で清須市の中で家を建ててもらえるのか、広報とか色々な部分でやっていただいているとは思っているのですけれども、そこら辺の良さというのをどのような形でアピールしていくのか、そういったところも今後の課題にはなるのかなというふうに思っています。

労働組合として、どういうふうにしていくのが一番良いのかというのは、一企業の労使の間での検討にしかならないので、そういった部分で、行政としてどのような形で持って行っていただけるのかなというのは、今回こういった形で委員の立場になって資料を見せてもらった中で、少し感じたところでございます。

次期総合戦略の部分も含めて、また何かあれば、ご意見させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(水谷座長)

ありがとうございました。

大変貴重なご意見をいただきまして、本当にありがたいと思っております。なかなか市民の意見をお聞きしても、審議会の委員の中からも、あまり出てこない、私にとって新鮮なご意見でした。

どうでしょう、まちとして、飲食店がもっと増えたら、より賑わいが出てくるので

はないか、また住んでいる方々も仲良くなれるのではないか。

そして、せっかく社宅ということで、かなりの方が移り住んでくださった、その方々が清須市に家を建てたり、マンションを買ったりというふうに住み着いていただけると、それは素晴らしいなというふうに思いました。

これは、施策としてはどの部分に、どうアプローチをしていけば良いのか、それは後期の方なのか、また今後1年半くらいでできるところがあるのか、事務局の方からお願いします。

(石附企画政策課主査)

飲食店ですとか、そういった部分のお話でよろしかったでしょうか。

そちらにつきましては、資料2の3ページ、基本目標①でございますけれども、施策の右下、5番でございます「創業支援の促進」ということで、本日ご参加いただいております商工会さんと連携をしながら、創業支援事業計画という計画を平成28年度に策定しているところでございます。

こちらは、市だけでなく、商工会さんですとか、今日ご参加いただいている金融機関さんとも連携をしてやっているところなのですけれども、まずは清須市で何か事業を始めたいという方が気軽に相談できるワンストップの窓口を設ける、そういう取組でございます。こちらも数件そういった相談があると聞いてはいますけれども、そういう方が創業しやすい環境を作ることが大事なことかなと思っております。

また、創業した後、こちらも議事の二つ目で出てきますけれども、個人の事業所さんではなかなか難しい部分、大きな情報発信ですとか、そういうところも市が支援できる部分はしていきたいと考えているところです。以上でございます。

(水谷座長)

ありがとうございました。

3ページの基本目標①の施策⑤「創業支援の促進」というところで、ここはもう少し、直近でも何か動きができれば素晴らしいのではないかなと思います。

どうでしょう、二つ目の議事の方にかなり論点移ってまいりましたが、一つ目の議事の方で、直近1年半くらいの間で改善すべき事項等がございましたら、いかがでしょうか。

(小川委員)

これまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の大きな柱として、今説明を受けたのが、安心・安全、子育て支援、高齢化対策、まちおこし、大きくはこの4つに分類されると思うのですね。子育て支援と高齢化対策については、おおむね達成しているのかなというふうに感じています。

ただし、清須市のイメージ、ブランディングを確立するためには、よほど強い特色

を出していかないといけないのかなと思っています。

まず、私が思う子育て支援ですけれども、清須市の教育がどうなっているのか分からないのですけれども、ここには挙がっていない幼児教育とか初等教育、中等教育とのそれぞれの連携ですとか、幼児教育から例えば英語に携わるとか、強い特色を出していくことが大切なのかなと思っています。清須市出身の人は非常に優秀な人がたくさん活躍されている、また頭の良い人が多いような、私は清須市民ではないのですが、そういうイメージが強いので、教育の内容まで踏み込んで検討できたら良いかなと思っています。

次に、まちおこしの部分ですけれども、今色々なお話が出ましたけれども、分散しているとか色々あったのですけれども、西枇杷島的美濃路、やはりこの部分も特色は強くないような気がするのですね。例えば、那古野の四間道のようによほど特色を出して、外からたくさんの人に集まってもらおうとか、レストランとか美味しい食事ができる所を作ったり、もうちょっと具体的に、そこをPRしていくことも大切ですが、中身をもう少し充実させていく必要があるのではないかなと思います。

清洲城も、せっかく清洲城があるのですけれども、城の目的にとられるのではなくて、例えば私どもでいくと学術集会ですとか、講演会とか、一般の人でいくと結婚式とか、何かのパーティーとか、目的をもっと広げられるのではないかというふうに思います。

「あしがるバス」も、いつも乗っているのが数人しか見てないのですけれども、これももう少し臨機応変にバスを運行できるのではないかと感じています。何か行事がある時に走らせたり、高齢の方がお祭りに行くバスであったり、いつも定例的に走っているだけではなかなか利用率も上がらないのかなと感じています。

今後のことか今のことか、ちょっと分かりませんが、よろしくお願いします。

(水谷座長)

ありがとうございます。大変貴重なご意見です。

教育の内容に踏み込んで特色を出すということ、そして、お城を観光目的だけではなく、もっと広く、色々な目的で利用してはどうか、そうしたら賑わいももっと出るのでないか、バスも循環だけではなくイベントに応じて等々ですね。

どうでしょうか、1年半くらいの間で何かできることとかはありますでしょうか。また今後の方の議論でも結構かと思っています。

(石附企画政策課主査)

小川委員からご意見をいただいた中で、まず教育の部分ですけれども、なかなか情報発信が上手でないという部分で、清須市でもネイティブの方に小中学校を回っていただいて、指導していただくということはやっているのですけれども、なかなかそういう情報発信が上手ではないという部分もありまして、取り組んでいる部分もあるの

かなと思います。

今年度からは、まずはハード面になるのですが、今年は全国的にも大きな問題がたくさんあったのですが、教室への空調設置ということをもまずはしっかりやっていきたいというところで、まずは教育環境を整えていくことを目指しているところでございます。

あとは清洲城の目的というところですが、すごく良いご意見をいただいたと思います。観光というところが清洲城の目的ではあるのですが、人が集まる状況を作ろうとしても、お城を見てすぐに帰ってしまうという状況にあるのが事実でございます。そこは小川委員からいただいたご意見のように、色々な視点から検討していかなくてはいけないということを認識しているところでございます。

(水谷座長)

ありがとうございました。

これから皆様のアイデア、お知恵をいただきたいというふうに思います。どうもありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(名倉委員)

清須市商工会の事務局長の名倉と申します。よろしく申し上げます。

今、お話を色々伺いする中で、今回委員として参画させていただいたのですが、「まち・ひと・しごと」という題目もございますように、清須市の現状の人口数ですとか、自然増減数、人口の推移ということで、表には分かりやすく表現していただいているのですが、「しごと」という面に関しては、こちらの表で明示されている部分がないなと感じました。

今回、題目にありますように「しごと」という面で、清須市の事業者数、商工業者数ですとか、小規模事業者数、こういった数字の5年間、10年間の推移ですとか、例えば今お話があったように商業系の推移、工業系の推移、そういった推移をまず現状として把握することが、清須市の発展にはまず一番必要なことではないかなと思っております。

現状では、平成28年の経済センサスによりますと、商工業者数が清須市では2,488企業ございました。すみません、これは4年前の数字ですね。4年前の数字では2,488企業、商工業者数があったのですが、今回の平成28年の経済センサスでは、商工業者数が2,317ということで、171企業減少しております。

また、小規模事業者数に至っては、4年前の比較ですと1,906事業者ございましたが、現状で4年経った今、比較しますと1,721事業者ということで、185事業者減っており、4年間でこれだけ減ってしまったという現状で、果たして人口が増えたからといって、すべからくこれが良いことなのかということですね。

名古屋市に近い清須市ということで、結局、名古屋市の方に若い人ですとか、人口

は流出してしまうので、決して清須市の方で商店が活性化するような、おカネを落とさせていただくという現実的なことがなかなかできていないのではないか、これは以前から商工会の立場で感じていることでございます。

現状を分析していただくということで、まずそういった表が一つあるだけでも違うのかなと思いましたが、そういうものを含めていただけると良いのかなと思っております。

(水谷座長)

ありがとうございました。

経済センサスという調査があるということですね。

(名倉委員)

そうですね。

(水谷座長)

そういう調査で数字が出ているので、そこから表を作っていくことは良いですね。

ちなみに、先ほど飲食店があったら良いなという話があったのですが、飲食店の数字は出ているのでしょうか。

(名倉委員)

そこまではこちらの方でも把握はしていませんけれども、商工会の会員さんを見ましても、個人の事業者というのは軒並み減っているような状況で、まだ我々の調査が至っていないのですけれども、例えば後継者がいる事業者がどのくらいいるのか、そういったことも把握していかなくてはいけないのですけれども、基本的には現状で経営してみえる方がそのご商売をやめられると、その事業はやむなく廃業というような事業者が大半だと思います。特に、商店、小売、飲食店の方ですね。本当に清須市で、ある程度人数が集まって食事ができる場所があるかということ、何年か前はまだあったのですが、今は15人、20人、30人くらいの会員さんを集めて食事会をする時に、清須市の飲食店さんは本当になくて、数えるくらいですので、例えば清須市の近郊のお店を利用したりですとか、そういったことが現状であります。

(水谷座長)

ありがとうございます。

ぜひ現状把握をしていただけるとありがたいと思っているのですが、いかがでしょうか。

(石附企画政策課主査)

名倉委員からご意見をいただいた部分ですが、まさに我々も問題意識を感じているところがございます。資料2の3ページ、基本目標①のところですがけれども、こちらを見ていただきまして、名倉委員が言われたように「まち・ひと・しごと」、この一体的な推進というところがございますので、やはり現在の戦略の中では「しごと」の創生という部分は、打ち出しとして、何かやっといこうというところでは、ちょっと弱いのかなと感じております。

そこは次期計画の中でも重要なポイントであるという認識もしておりまして、二つ目の議事にも絡んでくるのですけれども、商工業の関係の話としまして、福井委員や高山委員にご参画いただいております市の行政改革推進委員会、いわゆる総合計画のフォローアップの中で、今年度は商工業に関する施策についてのフォローアップをやったところでありまして。その中でも数字が出ているところで、直近平成26年の数字ではあるのですけれども、特に卸売・小売の事業者の方は、15年前と比較して3割くらい減少しているような状況でございます。また、名倉委員が言われたように、民営の事業所数としても減少傾向が止まっていないという状況でございます。

当然、清須市は名古屋市の近郊で、そういう状況にあるというところは理解しているのですけれども、やはり市内の事業者さんが生き生きと活動している状態を作ることがすごく大事なことだと思っております。国の資料でも出ているのですけれども、日本では廃業数に比較して創業数がすごく少ない、諸外国では全然数が違うというところで、新たに事業を始めたいという方に対する支援も大事になってくると思っておりますし、今やっている方へのフォローアップも商工会さんと力を合わせてやっていきたいと考えているところです。

第2回目以降の会議の中で、次期戦略でそこにポイントを当てる中で、国のビッグデータも出ておりますので、資料を出した上でご協議をいただけたらと考えています。

(水谷座長)

ありがとうございました。

後継者がいないかもしれないとか、現状の数字もそうですけれども、今後どんなふうな動きになりそうなのか、そこはもしかしたら清須市さんと商工会さんが協力して数字を出していくところかもしれませんので、ご協力をよろしく願いいたします。

それでは、浅井委員、いかがでしょうか。

(浅井委員)

皆様と重複してしまうところが大半ですがけれども、私は実は清須市に在住しています。市役所さんから目と鼻の先に住んでいるのですけれども、住んで15年くらい、外様といえば外様の立ち位置なのですけれども、その以前は長久手町に住んでいました。長久手町に10年住んで、こちらの方で15年という感じです。

先ほど副市長さんのお話の中で、出生率が長久手、日進を抜いて1位だとおっしゃっていたのですけれども、こちらに来た時に感じたのは、長久手に比べたら何となく活気がないなというところが第一印象でした。

当時はもう清須市になっていたと思うのですけれども、新川、西枇杷島、清洲、春日と4町が合併して清須市になっていまして、私は旧の新川町で、生活していてこの辺りの道路をよく通るのですけれども、それぞれの町の特色が顕著に現われているところがあって、旧の清洲町というと以前の宿場町で、城下町ではないかもしれないのですけれども宿場町であったというところがあって、皆様プライドが高いというようなところもあります。

私どもの中日信用金庫は清須市内に4店舗ございまして、西枇杷島町と新川町と清洲町、あと須ヶ口駅前に須ヶ口支店があって、私は3店舗を経験させていただいているのですけれども、その特色がすごく出ているのですね。ただ、一体感として見ると、全体的に見て統一感というのか、そういうのがあまり見受けられないなというのが正直な気持ちなのです。

以前から、私どもの理事長がこの会議に出席させていただいていたのですけれども、朝日貝塚の方は、実は私どもの理事長肝煎りの施策というか、心血注いでというようなところがあって、我々の会議の中でも朝日貝塚の話が出ることがありまして、吉野ヶ里遺跡に匹敵する発掘面積というようなことも聞いていまして、それが先ほど中田委員が言われたように、2年間手が入らないというのは一抹の寂しさというものがあって、それに代わる代替案というのも出していかなくてはいけないのかなというような、これは次に出てくると思うのですけれども、そういった気持ちで、私も清須市に対する気持ちは高いものですから、何らかの形でこの会にご協力できたら良いのかなというようなところでございます。よろしく願いいたします。

(水谷座長)

ありがとうございます。

4町の一体感、また違う言葉で統一感というお言葉をいただきました。これは市民参画会議でもすごく言われていまして、それぞれが10年くらい前に一緒になったのだけれども、まだばらばらでというところを気にされている方が非常に多かったので、ぜひ何か一体になるものができるとうまいなというふうに思います。

それでは、ご協力ありがとうございました。二つ目の議事の方にもかなり入っていたかと思っておりますけれども、これで一つ目の議事の方はご意見をいただいたということで、もし何かあればまた後でお願いいたします。

皆様からいただいたご意見を踏まえて、今後の取組を進めていただくように、事務局の皆様もよろしく願いいたします。

6 議事(2) 次期「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の考え方について

(水谷座長)

それでは、次の議題に移ります。

次期「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の考え方について、事務局からご説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料3～5を説明】

(水谷座長)

どうもありがとうございました。資料3、資料4、資料5についてご説明いただきました。

二つ目の議事のポイントは、これからの1年半、平成31年度が終わるまでに、ここまでかけて32年度から5年間の次の総合戦略を考える、1年半以上をかけて作っていくということかと思えます。

それに当たって、資料3の1番、2番とありますが、右下の2番のかっこの3番に、次期総合戦略の基本目標の素案というのがあります。これが市民参画会議で議論したものをベースに、清須市さんの方の実情、また課題認識も踏まえて作っていただいたものです。これはあくまでも素案ということで、これからどんどん練っていくもので、この目標を定め、数値目標を定め、先ほどの資料2のような形で、それぞれの基本目標に対して施策を定め、またKPIを設定していくということかと思えます。

先ほど高山委員もおっしゃっていただきましたけれども、人口が増えるとこの数字が下がってしまうという、設定として難しいところがこれまでありましたので、よりシンプルに、基本目標に対して、これが達成できたら目標を達成したと言えるのではないかと指標を設定したらどうか、また、具体的にどういう施策を打って行って、その施策に対してはこういうKPIで見ていったら良いのではないかと、その辺りで皆様のお知恵をお借りしたいというふうに思っております。

今回は1回目の会議ですので、まず前提となる資料3の1番、2番のかっこ2番の辺りまででご質問等がございましたらよろしくお願ひいたしますということと、2のかっこ3番の基本目標の素案に対して、一つ目の議事でもかなり出てきたと思っておりますけれども、加えて何かございましたらぜひご自由にご議論いただけたらと思ひます。

後半は11時50分をめぐりに、ぜひ皆様にご発言いただきたいと思っております。また、ぜひやり取りもしていただけたらと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきましたら幸いです。

それでは、いかがでしょうか。

(高山委員)

基本目標の素案ですが、確認ですけれども、先ほど見た4項目のタイトルのところが、この三つに置き換わるということでしょうか。

(水谷座長)

はい、そうです。

(高山委員)

私も昨日資料を見ていて、「シビックプライド」というのは何だろうと思って、ネットで検索して意味を調べると、なかなか良いことなのかなと思ひまして、先ほどの説明書きの看板の話とも絡んでくるのですけれども、素案の三つは郷土愛とはまたちょっと意味が違うのかなというふうに感じました。

私は、子どもの頃から合併前の清洲町の方に住んでいまして、途中10何年か離れていましたけれども、小学校とかでは、合併前の清洲町の郷土愛を育むような教育をやっていました。今は合併して、先ほど浅井委員の発言でもありましたけれども、一体感がないというところで、実際に長年住んでみえる方も、改めて、全体での郷土愛につながるような考え方というのを持っていかなくてはいけないのかなということを思ったものですから、素案の言葉の中に「シビックプライド」という言葉がないのが寂しかったのですが、改めて郷土愛を育むようなことを、もうちょっとアピールして入れ込んでいただきたいと思います。

(水谷座長)

ありがとうございます。

「シビックプライド」という言葉はやはり良いですか。魅力的ですか。

ちなみに事務局、何かございますでしょうか。

(石附企画政策課主査)

「シビックプライド」という言葉の意味としましては、地域に誇りと愛着を持って、当事者として考え、行動する住民意識というところでございます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

それを「シビックプライド」という言葉で呼ぶということなのですが、これは今の戦略の中には入っている言葉ですので、ぜひ継続してということであれば、そのように皆様と検討していきたいと思っております。

一方で、ちょっと分からないということもありまして、どういう表現をしたら良い

のかなという悩ましいところでもあるのですが、皆様に聞いてみたいと思います。

(石附企画政策課主査)

一つよろしいでしょうか。

「シビックプライド」の部分ですけれども、先ほどの資料2の中で、資料2の3ページをご覧くださいまして、現在の総合戦略の中では基本目標①、こちらの中に「シビックプライド」という言葉がございまして、それを測るための数値目標として「休日の滞在人口率の向上」というものを置いている状況でございます。

そのための取組として施策②、右側でございますが、「シビックプライドの醸成と人材の育成」という施策がございまして。こちらは、「シビックプライド」を醸成するための清須学講座、いわゆるまちを知るための講座を開催いたしまして、清須マイスターという、いわゆるご当地検定のような形でございまして、検定を行って、そういう方を増やしていくという取組を行っております。

先ほどの次期総合戦略の策定のポイントの中で、やはりどういう数値目標を目指して、どういう取組をやっていくかという中で、清須学講座とか、マイスターの認定をしていくことによって、どのようにまちが変わっていくのかという部分にどうやって結び付けていくのか、ここが非常に難しい部分だと思っております。

高山委員が言われるように、そこを重点化してやっていくということであれば、その目標に対する数値目標は少し変わった形で、例えばそれが育まれているかどうかを測るとか、また重点化を図っていくという中で、どういう言葉にしていくのか、そこはすごく難しい部分がございまして。そこは皆様のお知恵を借りながら考えていきたいと思っております。

(水谷座長)

ありがとうございました。

清須市らしさ、清須市民であることの誇りみたいな、そういったものを醸成していくに当たり、先ほど小川委員からも教育内容に踏み込んでというお話であったり、看板を作っていくまいしょう、清須市民の方にも知ってもらいまいしょうというところであったり、色々な取組が考えられると思うのですが、それを実際にどう測っていくか、「シビックプライド」が醸成されたということをどう測っていくか、それは悩みどころでございます。何か良いお知恵はございませんでしょうか。

(小川委員)

「シビックプライド」の醸成というのは、清須学講座をやったり、清須マイスターを認定することではなくて、実際に教育内容が変わったりとか、人口が増えたりとか、それが結局清須愛なのかなというふうに思います。

ですので、この二つのことは人数も少ないように、意味がないとは言いませんけれ

ども、そうではないような、それは大きな目標であって、それに付随するものがいくつかあるのかなというふうに感じます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

難しいところで、議論も難しいですが、「シビックプライド」については時間をかけて検討していきましょう。

(石附企画政策課主査)

そうですね。もう一つ、事務局から補足をさせていただきますと、「シビックプライド」に関して、清須学講座を受講された方を含めまして、基本目標の素案の3番「地域資源をネットワーク化して活用する」、この部分で、そういう意識を醸成していただいて、それをつなぐということが、今回市として考えていきたいところで、それがつながる姿が目指すところなのかなと考えています。

(水谷座長)

ありがとうございます。

人が意識を持って、お互いにつながり合って、何か見えてくるもの、今はまだ分からないけれども、それが生み出されてくるというのが、一つあるかもしれないですね。

他の皆様、いかがでしょうか。

(福井委員)

確認というかご質問ですけれども、基本構想の「7つの政策」と基本計画の「37の施策」のつながりは分かったのですけれども、これと右下のかっこ3番、総合戦略の基本目標との関係について、すみませんが、もう一度教えていただけますか。

(石附企画政策課主査)

そこが少し分かりにくい話で申し訳ないのですけれども、端的に申し上げますと、右上の表、基本計画の「37の施策」がありまして、例えば「治水対策の推進」という施策があるのですけれども、これと同じレベル感であるというイメージでございます。

というのは、「若い世代の定住を促進する」という施策の要素の中には、政策の1番の「安全で安心して暮らせるまちをつくる」という要素であったり、政策の4番の「便利で快適に暮らせるまちをつくる」という要素であったり、さまざまな政策の中の事業の要素が組み合わさって、いわゆる人口減少対策としての施策になっていくというイメージをしまして、基本的に各事業は各政策目的別に張り付いているということは大きなイメージとしてあります。

それらの事業を組み合わせ、こういう目的でやりますというところで、総合戦略の基本目標のためだけの事業も考えられるかもしれないですけども、基本的に事業は総合計画の政策体系に張り付いているというところでございます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

総合計画という政策体系があって、どこを重点的にやるかということで基本目標があるという考え方かと思います。他にいかがでしょうか。

(高山委員)

先の話になるのかなと思うのですけれども、今日は目標がこれで良いのかなという話で、少し先走った話かもしれませんが、この先、これに付随した施策の案が出てきて、それが良いかどうかという話につながっていくのだらうと思うのですけれども、ぜひその時には、要望ですけども、おそらく全国でまち・ひと・しごと創生総合戦略を作ってみえるのだらうと思うので、全国の色々なこんな例があるとか、そういったものをここで資料として出していただいて、これは清須でも使えるとか、ハードルがあるけれども、こうやればハードルを越えてやってやれないことはないとか、そんな議論がここでできるのかなという気がしますし、そんな中からもしかしたら、全国でどこもやってない、すごく良い案が出てくるかもしれないなと思って、ちょっと先走った話ですが、意見が空いたみたいなので申し上げさせていただきました。

(水谷座長)

ありがとうございます。

大変貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ他自治体の勉強をしましょうか。他にいかがでしょうか。

(福井委員)

基本目標につきまして、②と③が言葉として分かりづらいというふうに思っています、やはり目標はシンプルで分かりやすいのが良いかなと思っています。先ほどの「シビックプライド」は一応置いておいてですね。

「地域の稼ぐ力」って何だろうとか、先ほど注釈を入れていましたけれども、「地域資源」というのも、やはりそれに注釈を入れなければいけないというのは、やはり分かりにくさがあるのかなと思うのですね。

もうちょっと誰が見ても分かりやすいような表現にした方が良いのかなと思っています。それが具体的に何かというのは、すみません、まだアイディアはないのですけれども、この素案を見てそう思いました。

(水谷座長)

ありがとうございます。

注釈がいない言葉があると良いですね。とても大事なところだと思います。他にいかがでしょうか。

(名倉委員)

今回、次期総合戦略の策定のポイントということで、基本目標の素案、重点事項ですとか、総合計画の「7つの政策」、色々お聞きして、全部必要なことだなと感じておりますし、これが一つひとつ実現できていければ、清須市は本当に素晴らしいまちになるかと思えます。

その中で、清須市商工会といたしましても、政策5「魅力に満ちた活力のあるまちをつくる」という中の「商業・工業の振興」ということで、我々商工会もかれこれ何10年の歴史がある中で、最近はやはり事業所さんのニーズを聞いていくというようなことで、色々な「まちゼミ」ですとか、平成31年の1月には法人会と商工会の合同で企業交流会などを、これもキリンビールさんのご協力を得まして開催させていただくというようなことで、今後は基本目標③「地域資源をネットワーク化して活用する」という中のネットワークの中で、多分こちらの方の素案は市民さんのご意見もあったかとは思いますが、商工業を振興する上では、商業・工業の方のネットワークもこういう中で含めていただくと、清須市商工会と清須市の取組が市民の皆様によくご理解いただけるのではないかなと思っております。

また、清須市のホームページなどにも、商工会の活動を少し載せていただいたりすると、清須市のホームページを見られた市民の方が、商工会が商業・工業の活性化に努力していますよということもよりアピールできるのかなと思っておりますので、そういうこともお願いできると良いのかなということで、希望としてお願いしておきます。

(水谷座長)

ありがとうございます。

大丈夫ですね。ぜひそのようにさせていただきたいと思えます。事務局の皆様、よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

(中田委員)

次期総合戦略の基本目標③の関係になるかと思えますけれども、実は文化財保護法という文化財の保護に関する法律があるのですけれども、それが改正されまして、平成31年4月1日に施行されます。

その改正の趣旨は、過疎化、少子高齢化などを背景に、文化財の紛失や散逸等の防止が喫緊の課題であって、指定されているものだけでなく、未指定のものを含めた文化財をまちづくりに生かしつつ、地域社会総がかりでその継承に取り組んでいくこと

が必要である。このため、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進・強化を図る、こういった趣旨で改正されました。

具体的に何をやっていくかということでございますけれども、まずは県が県全域の文化財の保存・活用に関する総合的な施策の大綱を策定します。その大綱を勘案して、市町村は、その市町村の地域の文化財の保存・活用に関する総合的な計画、文化財保存活用地域計画というものを策定して、国の認定を申請できるようになるということでございます。

要は、地域にある歴史資源ですね、指定とか未指定に関わらず、面的に捉えて総合的に把握して、それをどうやって保存・活用していきましょうか、まちづくりに生かしていきましょうかという計画を作ることができるということになりました。

そうしますと、清須市さんにも様々な歴史資源があると思いますけれども、意外と知られていなくても良いものがあるかもしれないものですから、そういうものを掘り起こす作業をしていただいて、文化庁の方も活用に重点を置くようになってきて、今までの活用というのは文化財の公開だけだったのですけれども、そうではなくて、地域づくりやまちづくり、観光の要素も含めてということで、保存・活用をしていきましょうといったようなことでシフトしてきましたので、実際に計画を作る時に、清須市にある色々な資源をゼロベースから掘り起こしをしていただいて、それを面としてまちづくりをどうやっていくのか、歴史の小路みたいな形で整備するとか、そういうことを考えていただければと思います。

あるいは、清須学講座とか清須マイスターというのは、何を勉強されているのか私もちょっと分からないのですけれども、清須市さんの地域資源、歴史資源をボランティアみたいな形で紹介できるなら、そういうふうにして集客をしていくとか、そういったことを考えていただいたらどうかなと思います。文化財保護のながれを紹介させていただきましたので、参考にいただければと思います。

(水谷座長)

ありがとうございました。

大変貴重な情報提供をありがとうございます。まさに観光資源、色々な目的で活用できるのではないか、その見直しをしてはどうかというお話ですとか、バスや小路などをどうやってつなげていくのか、それはきっと4町がばらばらだった時代から清須市として一体になっていくのに、かなり貢献していくのではないかというふうにお聞きいたしました。ありがとうございます。ぜひそういったところも検討して、組み込んでいければと思います。

(中田委員)

一つ大事なことを忘れていました。清洲貝殻山貝塚資料館の新資料館、平成32年オープンということで、清須市さんにある地域資源の中でも核となるような施設にな

ればと思って、期待をひしひしと感じておりますので、整備をしていきたいと思っております。

新資料館は、現在の資料館の4倍の延床面積になる予定です。重要文化財の展示・公開、体験学習の場としても活用できるスペースの設置など、今まで以上に朝日遺跡に人を呼び込むことができる施設になると考えております。

清須市さんの方からも整備に当たって、単なる見学の間だけではなく、住民や観光客が楽しめる要素を盛り込んで欲しいなどの要望をいただいておりますので、文化財を取り扱う施設でありますので、制約はある程度はありますけれども、可能な限りご期待に応える施設にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(水谷座長)

ありがとうございます。それでは、いかがでしょうか。

(牧野委員)

今後の私の知識を増やすという意味でもちょっと教えていただきたいのですが、次期総合戦略の基本目標①の考え方のところ、「若い世代にとって子育てしやすく、住み続けたいと感じていただくことが必要」とあるのですが、資料5で色々な方々の意見をいただいているとは思いますが、行政と市民の意見にギャップがあるのかなのか、要は、行政が思っている「子育てしやすい」という観点と、住民が思っている「子育てしやすい」という観点は、ニアリーイコールなのか、やはりちょっと違うよねという状態なのではないでしょうか。

我々、労働組合という立場からすると、それが一企業の就業規則を含めて、色々な労働条件の改正などもつなげていけるというようなところがあるのですが、今の段階で、次期ではなく今の総合戦略の中で、そういった部分を含めて何かギャップを感じておられるのか、ギャップがあるなら次にどういうふうにつなげていくのかという、そういった部分があればお伺いしたいと思います。

(水谷座長)

市民参画会議の議論をお聞きして、いかがでしたでしょうか。ギャップを感じられましたでしょうか。

(石附企画政策課主査)

そうですね。私も子育て支援の担当課ではないので、市民参画会議でいただいた意見についての感想というところにはなるのですが、その中でいきますと、割と住んで良かった、住みやすいと感じて見える方は多いのかなと感じていまして、今回の市民参画会議は子育てを終わっている方、40歳代くらいの方が多くて、小さいお子さんがいる世代の方ではなかったのですが、割と住みやすいと感じているとい

うことはおっしゃっていた印象があります。例えば交通機関であったり、子育てをする世代であれば、車に乗れる状況であれば、少し行けば色々な商業施設もあつたりですとか、そういうこともあって、暮らしやすい印象はあるという意見が多かったように私は感じているところです。

行政的な視点から言えば、待機児童をなくすとか、働いているお父さん、お母さんたちが子どもを預けられる場所を作ることがまずすごく重要な部分であると思えますし、そこは市でも重要な施策として進めているという部分はありますし、その部分で充実しているということについては、情報があまり発信されていない部分もあるのかもしれないと感じているところでございます。以上でございます。

(水谷座長)

ありがとうございました。

私も市民参画会議に携わらせていただいて、少し感じるところがあるのですけれども、市民の皆様のお困りごととか、悩みみたいところは、行政の皆様もかなり把握されていて、それに対して何かしなくてはいけないというふうに思われて、色々な事業が動いていると思っております。

ただ、具体的にもっとこうしたら良いのにとこの部分の、市民の皆様の発想力の豊かさというのはかなりありまして、ご商売をされている方などは、もっとこういうふうに行政の方がリードしてくださったら私たちももっと頑張るのにと、その活力の部分、これからまだまだ生かしていける可能性がかなりあるのではないかと感じております。

行政の皆様もちょっと遠慮をされていたり、どこまで踏み込んでいいのかというところが分からないようなことがあるのではないかとお見受けしておりまして、そこをうまくつないでいけば、かなり可能性が開けてくるのではないかと感じております。

他にいかがでしょうか。

(浅井委員)

先ほど来、基本目標の素案というのは、本当に市民感覚で考えた資料5の内容が、まともに反映されているのかなというような、斜め読みではあるのですけれども、すごくそういった印象が強いです。市民の声があって、初めて行政につながるというようなところがあって、市民一人ひとりの考え方がすごく大切なことだとは思いますが、その中でかいつまんで、今回のこの会があるというような認識でもいますので、行政としての資源とか、人としての資源というのを使えるだけ使って、清須市の活性化につなげればベストなのかなと思っています。

色々と言い出せばきりがなくなってしまうことなので、あれもこれもというところは清須市の活性化についてはあるとは思いますが、この先数回のこういった会議を催して、解答が出れば一番良いのかなという思いでおります。

(水谷座長)

ありがとうございます。

市民感覚はとても大事で、こういうふうにとまとめて、それを政策に反映するというのは素晴らしいと思っています。

一方で、それぞれのお立場の皆様からのご意見というのは、今日も本当に新鮮というか斬新で、そのとおりだなとお聞きいたしました。

この会議、総合戦略の方もとても大事だと思いますので、今後ともご協力のほど、よろしく願いいたします。

どうでしょう。そろそろお時間なのですけれども、ご質問、ご意見がございましたら、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、委員の皆様から様々なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

次回の会議では、市民参画会議での議論も踏まえて、次期総合戦略の骨子の検討というところを具体的に進めていければと思っています。よろしく願いいたします。

以上で、本日予定されていた議事は全て終了いたしました。

これをもちまして、平成 30 年度の第 1 回 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了いたします。

皆様、ご協力本当にありがとうございました。事務局にマイクをお返しいたします。

7 閉会

(河口企画部次長兼企画政策課長)

皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

今後ですけれども、市民参画会議での議論を踏まえまして策定させていただきます次期総合戦略の骨子案につきまして、先ほど来から出ておりますように、12月に開催予定をしております第2回の当会議におきまして検討をしていただきます。

そして、年明けの1月に第2回の総合計画審議会を予定しておりますので、そちらの方で検討を進めていくというような予定をしております。

水谷座長におかれましては、総合計画審議会の副会長にご就任していただいております。地方創生の推進に向けましては、より緊密に当会議と総合計画審議会の連携を図っていきたいと思っておりますので、当会議から1名、総合計画審議会の委員にご就任をいただきたいと思いますと思っております。

そこで、清須市の総合計画の評価に際しまして、長い間携わっていただいております高山委員に、総合計画審議会の委員へのご就任をお願いしたいと考えておりますが、皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声)

よろしいでしょうか。そうしましたら高山委員、どうぞよろしく願いいたします。
なお、12月の会議につきましては、12月の中旬ということで予定をしております。
年末の忙しい時期ではありますので、早めに日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

本日は、長時間にわたりましてご審議賜りましてありがとうございました。
以上で終了とさせていただきます。

問い合わせ先

企画部 企画政策課

電話 052-400-2911 (内線3251)

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員 福井 武宏

署名委員 名倉 晃広